

にちなん しぶし  
東九州自動車道(日南～志布志)  
第2回 説明資料

平成25年10月11日

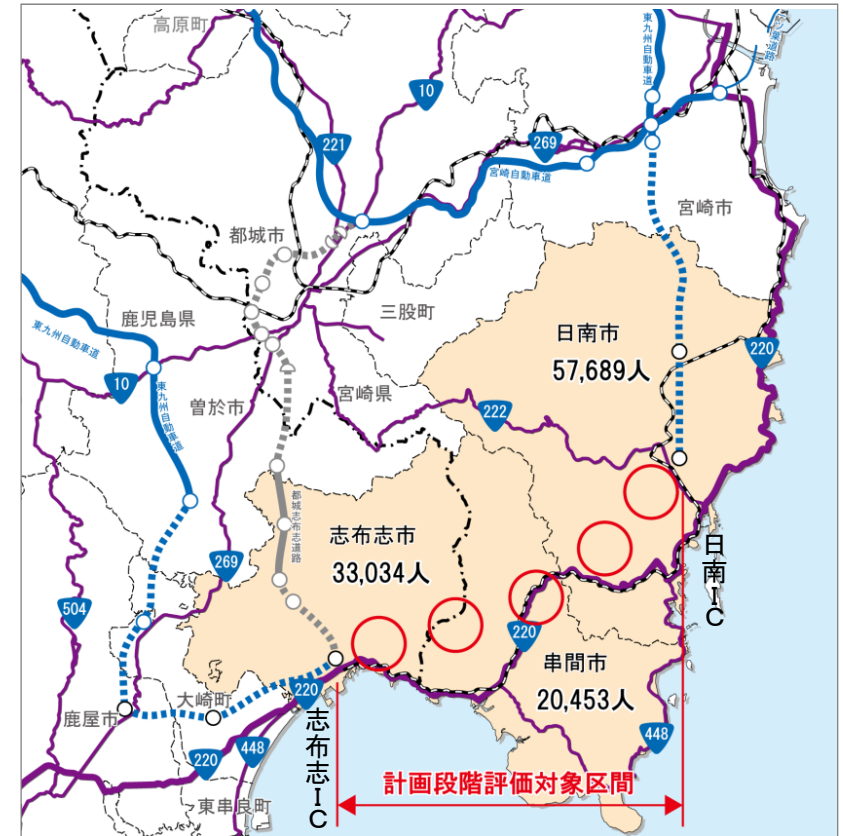
国土交通省 九州地方整備局

# <評価対象区間>

【広域図】



【対象市町村の位置】



凡 例	
	供用区間
	事業中区間
	未事業化区間
	沿線地域

※数字は人口(H22国勢調査)

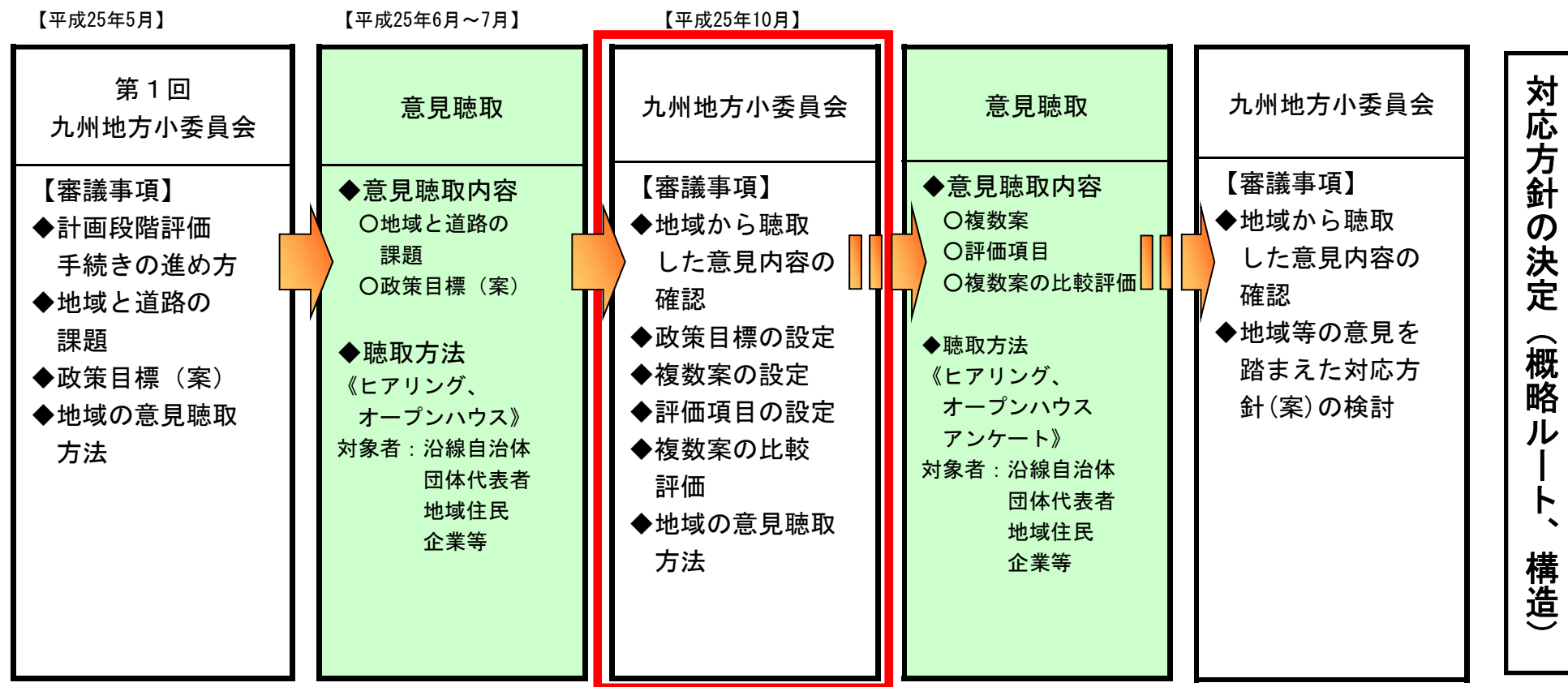
## 目 次

1. 計画段階評価手続きの進め方(案)
2. 前回審議内容
3. 第1回意見聴取の結果
4. 対応方針の検討
5. 第2回意見聴取方法(案)



# 1. 計画段階評価手続きの進め方(案)

# 1. 計画段階評価手続きの進め方(案)



地 方 小 委 員 会

※各段階で随時自治体と調整



## 2. 前回審議内容

## 2. 前回審議内容<九州地方小委員会(1回目)>

### 九州地方小委員会(1回目)の概要

#### ■実施日

平成25年 5月29日

#### ■主な議題

- ①地域や道路・交通の現状と課題
- ②政策目標の設定
- ③意見聴取の方針

### 九州地方小委員会(1回目)での主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
地域の現状と課題の項目について、暮らしの観点や基幹産業の観点などをさらに整理すべきではないか。	暮らしの観点(通学状況等)、基幹産業の観点(水産業・畜産業等)を加え、意見聴取を実施した。
意見聴取については、さらに広く周知を図る方法を工夫してはどうか。	市報での広報に加え、記者発表、チラシの掲示・配布・新聞折り込み、商店街での直接配布、防災無線の活用、NHKデータ放送、ケーブルテレビ等により周知を行った。



## **3. 第1回意見聴取の結果**

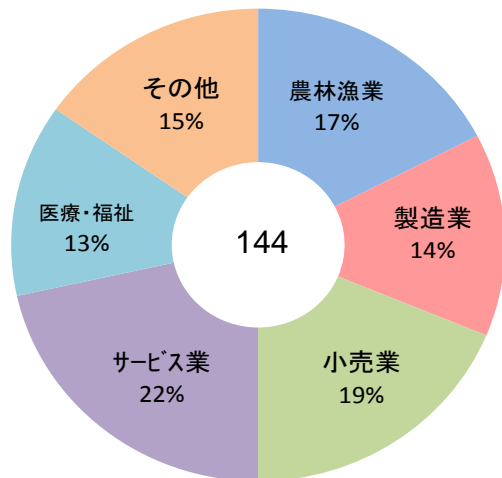


### 3. 第1回意見聴取の結果＜意見聴取の状況＞

■意見聴取は、企業、団体ヒアリング及びオープンハウスによる地域住民ヒアリングなど、以下の内容を実施した。

対象	実施期間	回答方法	実施概要	備考
自治体	平成25年6月26日(水) ～7月 3日(水)	訪問による ヒアリング	宮崎県、鹿児島県、日南市、串間市、志布志市 2県3自治体	
団体	平成25年6月26日(水) ～7月19日(金)	訪問による ヒアリング	トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所、消防 署、警察署、農協、漁協、観光協会、他全37団体	
企業	平成25年6月27日(木) ～7月10日(水)	訪問による ヒアリング	対象地域の主要企業107社 (日南市36社、串間市37社、志布志市34社)	
地域住民	平成25年7月26日(金) ～7月29日(月)	オープンハウス 会場での ヒアリング	4会場(日南市2、串間市1、志布志市1)	
			オープンハウス会場にて地域の課題・政策目標について パネルを展示し担当者が説明後ヒアリング	
			来場者数987人、意見聴取者数922人	広報用チラシ全戸配布 来場者比率:2.2%

■ヒアリング実施団体・企業の内訳

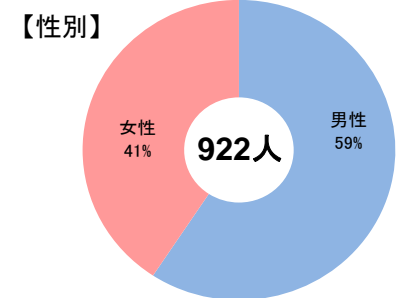
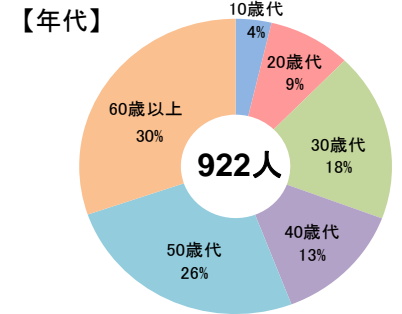


# 3. 第1回意見聴取の結果＜意見聴取の状況＞

## ■オープンハウスについて

	会場	実施日	時間	意見聴取者数	備考
日南市	生涯学習センターまなびピア	7月26日(金)	9:00～16:00	187	約23,000世帯 (人口:約58,000人)
		7月27日(土)	9:00～16:00		
	南郷ハートフルセンター	7月26日(金)	9:00～16:00		
		7月27日(土)	9:00～16:00		
串間市	串間市文化会館	7月28日(日)	9:00～16:00	647	約8,000世帯 (人口:約20,000人)
		7月29日(月)	9:00～16:00		
志布志市	サンポートしぶシアピア	7月26日(金)	10:00～16:00	88	約14,000世帯 (人口:約33,000人)
		7月27日(土)	10:00～16:00		
計				922	約45,000世帯 (人口:約111,000人)

## ■オープンハウス意見聴取者の内訳



## ■記者発表・チラシなどによる広報

### ○記者発表

平成25年7月 3日(水)  
平成25年7月24日(水)

### ○広報用チラシ

・市役所・商業施設に掲示・配布

### ○チラシの新聞折り込み

### ○商店街でのチラシ直接配布

### ○防災無線を活用した広報

### ○NHKデータ放送

### ○ケーブルテレビ

### ◆広報用チラシ

**東九州自動車道【日南～串間～志布志】**  
**道路計画に関するご意見をお聞かせください!**

東九州自動車道は、北九州市から大分県、宮崎県を経て鹿児島県に至る高速自動車国道です。このたび、日南～串間～志布志区間の道路計画の検討にあたり、地域のみなさまのご意見をお聞きするため、**パネル展(オープンハウス)**を開催します。

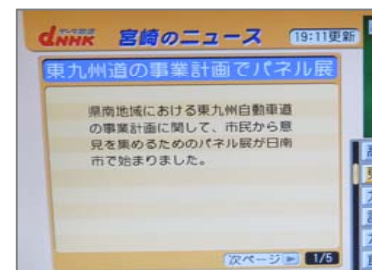
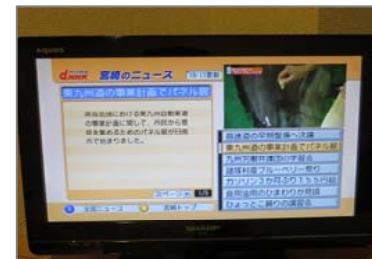
国土交通省では、日南～串間～志布志区間の道路と道路の課題等についてパネルを展示し、国土交通省の職員が説明を行うとともに、パネルの内容に対する地域のみなさまのご意見をお聞きします。

日南・串間地域のより良い地域づくりに向けて、みなさまのご意見をお聞かせください

日南地区	南郷地区	串間地区
<会場> 生涯学習センターまなびピア	<会場> 南郷市南郷ハートフルセンター	<会場> 串間市文化会館
<日時> 7月26日(金) 9時～16時 7月27日(土) 9時～16時	<日時> 7月26日(金) 9時～16時 7月27日(土) 9時～16時	<日時> 7月28日(日) 9時～16時 7月29日(月) 9時～16時

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

### ◆NHKデータ放送画面



## ■オープンハウスの状況

### 【日南市まなびピア】



### 【串間市文化会館】



### 3. 第1回意見聴取の結果＜意見聴取の結果＞

#### 地域・道路の課題、政策目標について

##### 防災

###### 主な意見

- 南海トラフ地震の対策としての政策目標が大切だと思います。(住民:日南市、60代以上男性)
- 本地域の国道220号には、巨大地震による津波浸水域が分布しており、孤立する世帯が発生する恐れがある。(鹿児島県)
- 国道220号は一本道で、一度事故や災害等で不通となれば、ライフラインも断たれる。災害に弱いのが現状である。(住民:串間市、50代男性)
- 串間は予想津波が17mと高く、国道も冠水する危険があるため、高速道路は応急的の道路、避難所として必要だと思う。(住民:串間市、20代男性)
- 今の道路状況では災害発生時において輸送ルートが寸断される恐れがあり、高速道路などの安定した輸送ルートの構築が必要である。  
(住民:串間市 30代男性)
- 南海トラフ地震による津波被害を考えると防災という観点からも高速道路が必要である。内陸部へ高い位置の道路が早急に欲しい。地域の悲願であり切望している。(志布志市)
- 津波を高速道路に結びつけるのはどうかと思う。避難場所など、自治体が考えればよい。(団体・企業:志布志市)

### 3. 第1回意見聴取の結果<意見聴取の結果>

#### 医療・暮らし

##### 主な意見

###### 【救急医療】

- 先日、近所の主婦がやっと授かった赤ちゃんを流産しました。日南病院に転送されたが間に合わなかったそうです。今の串間では助かる命も助ける事が出来ません。高速道路の早期着工を望みます。(住民:串間市、40代女性)
- 叔父が救急搬送された際、夜のためドクターヘリが飛ばず、救急車で宮大病院へと長時間搬送された。一命は取り留めたが、医師から「よく持ってくれた」と言われたほど一刻を争うものだった。ドクターヘリは万能ではないので、救急医療の面において高速道路は必須と考える。(団体・企業:串間市)
- 以前、宮崎市で看護師をしていました。県南地域には循環器系の病院がなく、1時間以上かけて宮崎市の病院まで運ばれてくるのですが、助けられないケースも多々ありました。道路が早急に整備され多くの人命を助けられるように願っています。(住民:串間市、30代女性)
- 以前大きな病気をした時、救急車で宮崎の病院まで運ばれました。一刻を争う時に時間もかかり、不安しかありません。2歳と6歳の子供がいます。今は何もなく元気に過ごしていますが、もし何かあった時に1秒でも早く病院へ…親の願いです。(住民:串間市、30代女性)
- 鹿屋市や都城市の病院があるので、志布志市の住民としては医療面の不便は感じない。(団体・企業:志布志市)

###### 【平常時医療】

- 高齢者が遠距離通院(日南市や串間市)を余儀なくされ、家族が送迎に時間を要し苦労している。(団体・企業:串間市)
- 宮大病院の医師に来ていただいているが、「遠すぎる」との声をよく聞く。そのため、医師数の確保も難しい状況にある。(団体・企業:日南市)

###### 【通学・通勤】

- 子供が宮崎市内の高校に通っているが、寮に入っており、家庭の支出が負担となっている。また、週末には串間に帰ってくるが、学校が終わるのが22時頃で、宮崎まで迎えに行くと、帰ってくる頃には日が変わってしまう。時間的にも、体力的にも非常に辛い状況である。(団体・企業:串間市)
- 地元の学校も大事なのですが宮崎市等の学校を希望する子ども達もいます。しかし串間から通学は出来ないし、親の負担も大きくなるので、断念する子どももいます。就職も同じ事が言えると思います。高速道があれば仕事先の選択肢も増えると思います。是非早く造って欲しいです。(住民:串間市、50代男性)
- 高校の通学に高速道路との因果関係はないと思う。(住民:日南市、60代以上男性)

###### 【買物・趣味等】

- 宮崎に映画を観に行くのも1日がかかり。趣味の音楽コンサートも帰りを考えると諦める。(住民:串間市、50代男性)
- 衣料品や育児用品等も宮崎市内や都城市内へ出向き買い物をしている状態でちょっとした買い物でも1日がかかりになってしまいます。(住民:串間市、30代女性)
- 益々宮崎市が近くなることで、進学や買い物等で宮崎市内に人が多く流出する懸念もあると思う。(住民:日南市、30代女性)

### 3. 第1回意見聴取の結果＜意見聴取の結果＞

#### 産 業

##### 主な意見

###### 【物流】

■志布志港への運搬時に利用する国道220号はアップダウンが大きく、燃費が悪くなる。東九州自動車道が整備されることによって、時間短縮だけでなく燃料費のコストダウンも見込まれる。(団体・企業:宮崎市)

■延岡市北浦町からカサゴ・平目・鯛の稚魚を入荷しているが、国道220号等のカーブやブレーキによる負担から、到着時にすでに1割程度が死んでしまう。活魚輸送、氷を敷き詰めた箱詰め輸送のどちらにおいても、カーブ等で魚同士が擦れるため、見た目が悪くなってしまい、単価が3割ほど落ち込んでしまう。(団体・企業:串間市)

■鮮魚の串間市場のセリ値は宮崎市場に比べ5～7割程度の状況であり、搬送時間が1時間程度であれば、セリ値の高い宮崎市場に出荷することができる。(団体・企業:串間市)

■セリ値の高い宮崎の市場へ出荷することだけではなく、道路整備により比較的セリ値の安い串間市場まで買いに来てくれることが期待できると思う。そうすればセリ値も上がるのではないか。(団体・企業:串間市)

■漁業を取り巻く環境は水揚げ高の減少、消費量の減少、取引価格の下落等で厳しい状況にあり、取引価格の向上に繋がるとは言い難い。(団体・企業:串間市)

###### 【業務に伴う人の移動】

■週に2～3回、出張で宮崎へ行っているが、往復3時間半～4時間ほどかかり、半日では済まない。会議が夜まで続く泊まらざるを得なくなり、効率的でない。(団体・企業:串間市)

■業務上、工場の業務機械の突発的な故障に対して呼び出しを受けることが多い。当社(日南市)から取引先がある串間市・志布志市には国道220号を通過して行くしかなく、対応に時間がかかっている。工場を1時間止めると数百万円の損失が生じると言われており、サービスレベルの向上および顧客の損失を最小限に抑えるという意味で高速道路の必要性を感じる。(団体・企業:日南市)

■鹿児島に取引業者が数社いるので、移動時間の短縮などメリットがあるのでは。また、串間地域など遠方の従業員の通勤時間短縮、通勤圏が広がれば鹿児島地域からの人材確保も期待できる。(団体・企業:日南市)

###### 【企業誘致】

■高速道路が整備されていないため、誘致で他地域と勝負ができず所得格差の拡大や人口流出という悪循環を招いていると思う。(団体・企業:日南市)

■企業誘致活動を行っているが、高速ICからの距離、時間が重視されている部分もあり、進出に躊躇される。東九州道が整備されれば、多様な企業への誘致活動が容易になる。(串間市)

■道路が整備されていないところに企業は来ない。整備が企業誘致のきっかけになればと思っている。(団体・企業:日南市)

### 3. 第1回意見聴取の結果＜意見聴取の結果＞

#### 観光

##### 主な意見

###### 【観光資源へのアクセス時間(広域周遊)】

- 鹿児島まで新幹線が整備され、指宿等が賑わいを見せています。東九州道が整備されると観光客の周遊ルート等、宮崎県南地域の方に向けて来ると思われます。是非実現したいです。(住民:日南市、60代以上女性)
- 「高速道路がないため、南九州一帯の観光ツアーを計画する上で、宮崎県南地域の観光ルートを組みにくい(団体・企業:日南市)
- 当社も工場見学会を行っているが、地理的に遠く、観光ルートとして組み込みにくいと言われた。(団体・企業:志布志市)
- 東九州道が全線整備されれば、鹿児島空港→県南地域→宮崎空港という周遊ルートもできる。(団体・企業:串間市)

###### 【観光資源の活用】

- 宮崎県そのものが全国の人々からはアクセスが不便なのだが、その中でも県南は農産物・景勝の良さを多くの人々に来てもらえなければ宝のもちくされである。(住民:日南市、50代女性)
- 高速道路の整備により都井岬観光の雰囲気を変えていきたい。県としては、南郷あたりにインターを計画して、国道448号を整備し、都井岬観光のメインルートとしたい。(宮崎県)
- 現在でも少数だが修学旅行生が来訪しており、高速道路が繋がると誘致に弾みがつく。(団体・企業:日南市)
- 串間をとおりこして、日南、志布志に行くと思う。だから、串間に観光客が結局来ないと思う。(住民:串間市、10代女性)

### 3. 第1回意見聴取の結果＜意見聴取の結果＞

#### その他自由意見

##### 主な意見

###### 【早期整備】

- 高速道路を早く整備して欲しい。インフラが整備されないと企業も来ない。志布志港の発展の為に重要。（住民：志布志市、50代男性）
- 当該区間は高速交通網から取り残された区間であり、地域の経済・産業の活性化を図るためには「繋げてこそネットワーク」の視点に立ち整備が進められるようお願いする。（鹿児島県）
- 県南地域(特に串間)は、他地区に比べ、とにかく交通の便が悪すぎる。JRも利用しにくい中で、高速道路は、今後早期に必要なものだと思う。宮崎県民に平等の生活環境を作ってほしい。（住民：串間市、50代男性）
- 国土の均衡ある発展の為に速やかに整備して欲しい。（志布志市）
- 高速道路は有料でもかまわないので是非、早く整備して欲しい。（団体・企業：串間市）

###### 【整備コスト】

- コストが掛からない効率の良いルートを整備してほしい。（団体・企業：日南市）

###### 【人口流出等】

- 人口流出も考えられるが、生活向上には必要と思えるので早急な整備を要望する。（住民：日南市、50代男性）
- 清武～北郷間をはじめ、日南以南の道路が整備されれば経済が発展すると思う。またデメリットとして人口流出もあげられるが、それぞれの市町での政策をもって分かりやすい形でおし進めるべきではないかと考える。（住民：日南市、30代男性）
- ストロー現象により単にそこを通過するだけになってしまっは、ますます地域が衰退する。道路を生かして地域をどう活性化するか、官民が連携し、地域と道路が一体となった街づくりを考えていかなければならない。（団体・企業：日南市）

###### 【その他】

- 自然環境を破壊してまでも道路整備をする必要はない。（住民：串間市、50代女性）
- 生活道路、観光道路として活用できるためには、無料で整備されると助かる。（団体・企業：南郷町）
- 道路整備にかかるお金を子供達のために使って頂きたい。（住民：日南市、40代女性）

# 地域の現状と課題<防災(津波)>

■南海トラフ巨大地震等による津波浸水域が多数分布（串間市は県内最大津波想定高17m）し、幹線ネットワークの途絶により、孤立する世帯が想定される。

## ▼過去の日向灘地震



▲地震で倒壊した家屋(1961年)

●1662年の寛文地震では、高さ4~5mの津波が宮崎県から大隅半島一帯に襲来したとされ、死者200人、家屋全壊3,800戸の甚大な被害を受けた。

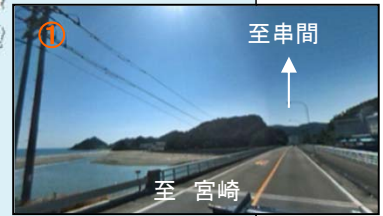
資料:「九州の自然災害」日本応用地質学会」

## ▼地域の声

●南海トラフ地震による津波被害を考えると防災という観点からも高速道路が必要である。内陸部へ高い位置の道路が早急に欲しい。地域の悲願であり切望している。(志布志市)

●今の道路状況では災害発生時において輸送ルートが寸断される恐れがあり、高速道路などの安定した輸送ルートの構築が必要である。(住民・串間市:30代男性)

## ▼巨大地震による津波浸水想定範囲



※津波浸水域出典

内閣府:「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)」H24.8.29

宮崎県:「県としての新たな「津波浸水想定」の設定について」H25.2.19

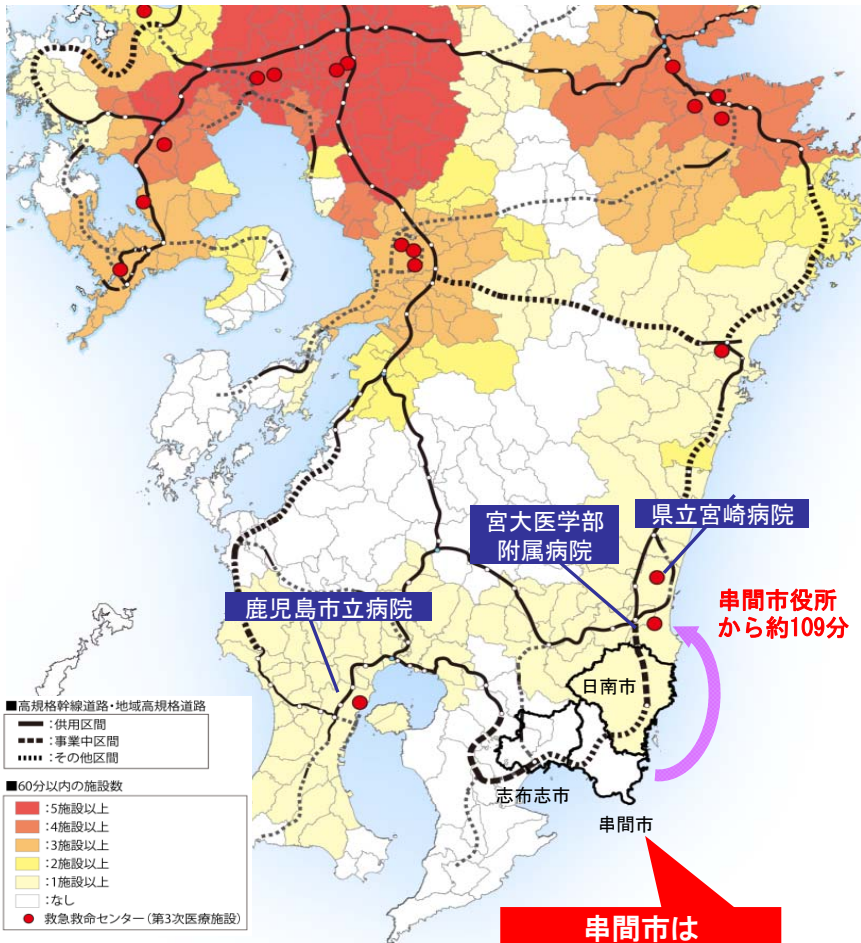
鹿児島県:「鹿児島県地震等災害被害予測調査中間報告(災害想定概要)」H25.3.25



# 地域の現状と課題<医療・暮らし>

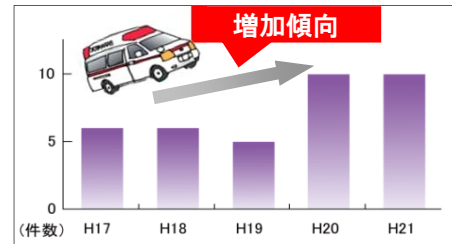
- 串間市から第3次医療施設への救急搬送は、増加傾向にあるが、現状では搬送時間に109分かかり、事業中区間が完成しても、60分以上を要する。
- 医師の多い宮崎市からの通勤時間が長いことが、日南・串間地域の病院における医師確保を困難にしている。

▼60分以内にアクセス可能な第3次医療施設数



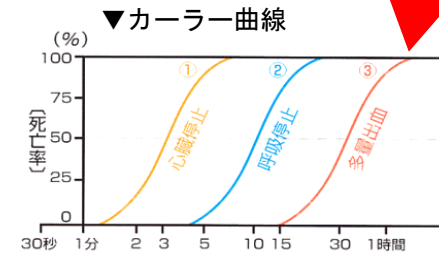
※各市町村役場の60分以内アクセスについて図化

▼串間市から宮崎市第3次救急医療施設への救急搬送件数

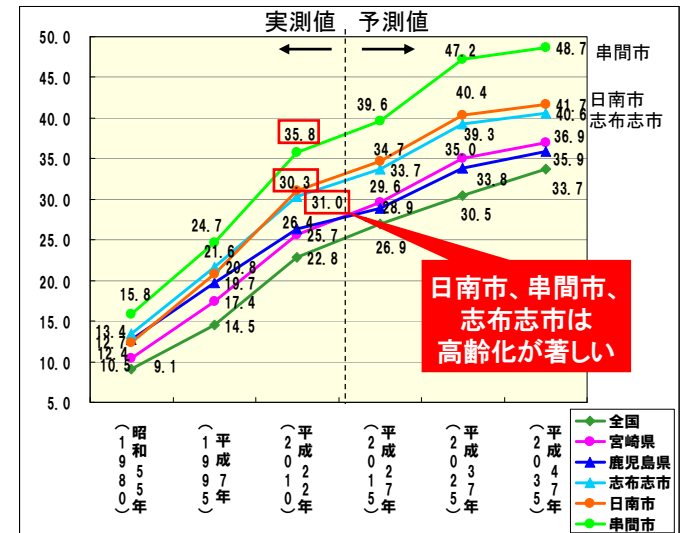


資料：串間消防署

60分以上は死亡率がほぼ100%



▼高齢化率(65歳以上人口割合)の推移



## ▼地域の声

● 叔父が救急搬送された際、夜のためドクターヘリが飛ばず、救急車で宮大病院へと長時間搬送された。一命は取り留めたが、医師から「よく持ってくれた」と言われたほど一刻を争うものだった。ドクターヘリは万能ではないので、救急医療の面において高速道路は必須と考える。(団体・企業：串間市)

● 宮大病院の医師に来ていただいているが、「遠すぎる」との声をよく聞く。そのため、医師数の確保も難しい状況にある。(団体・企業：日南市)

※将来推計人口については、出生中位、死亡中位の推計の結果に基づく。

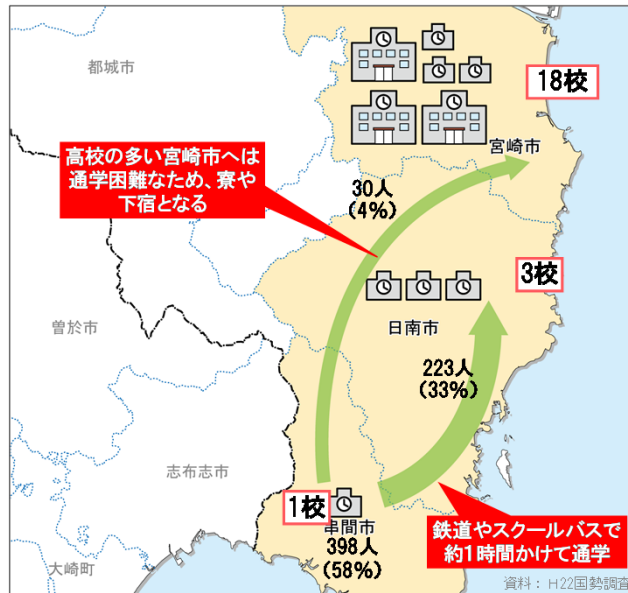
資料：【実績値】国勢調査、総務省  
 【予測値】国立社会保障・人口問題研究所HP

# 地域の現状と課題<医療・暮らし>

■ 串間市の高校生の3割が日南市の高校へ約1時間かけて通学している。高校が多くある宮崎市までの通学は困難で寮や下宿となるため、家庭の教育支出負担とともに、週末の帰省のための送迎に係る家族の時間的・肉体的負担も大きい。

■ 串間市には都市型レジャー施設がなく、施設が多く立地する宮崎市までは約2時間を要するため夜のイベント時には宿泊を要する。

## ▼串間市民の通学先と高校の数



宮崎市フェニックス  
自然動物園



サンマリンスタージアム  
(野球場)

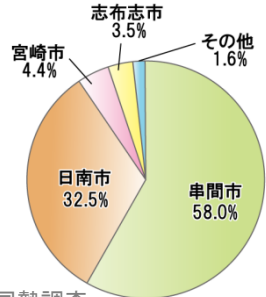


※都市型レジャー施設は映画館、コンサート会場、遊園地、大規模ショッピングセンター、プロ野球開催球場、総合運動公園を対象

## ▼都市型レジャー施設数と移動時間



## ▼串間市民の通学先

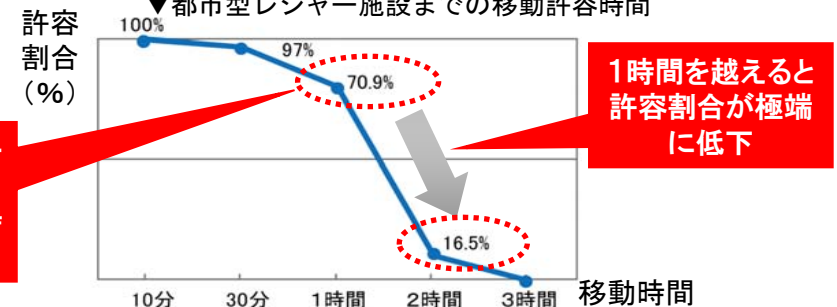


## ▼地域の声

● 子供が宮崎市内の高校に通っているが、寮に入っており、家庭の支出が負担となっている。また、週末には串間に帰ってくるが、学校が終わるのが22時頃で、宮崎まで迎えに行き、帰ってくる頃には日が変わってしまう。時間的にも、体力的にも非常に辛い状況である。(団体・企業: 串間市)

資料: H22国勢調査

## ▼都市型レジャー施設までの移動許容時間



※宮崎県民を対象としたアンケート結果 資料: 九州地方整備局

# 地域の現状と課題<産業>

■志布志港が国際バルク戦略港湾に指定され、海外から大量輸送による安価な飼料入手が可能となることから、地域産業発展の重要な役割を担うが、東九州道沿線地域に供給するまでの物流ネットワークのアクセス強化が課題。

## ▼H23. 5国際バルク戦略港湾指定

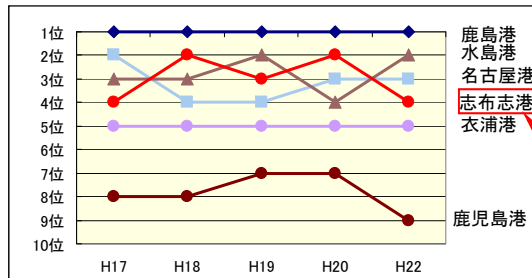
■超大型輸送船の接岸により大量輸送による安価な飼料の入手が可能となり、飼料の供給元として位置付けられる



10万トンクラスの超大型輸送船接岸に向け拡張予定

資料：国際バルク戦略港湾計画書 鹿児島県

## ▼飼料原料（とうもろこし）輸入量港湾順位



資料：港湾統計

志布志港は常に全国上位

## ▼配合飼料の輸送先と宮崎県内の畜産農家戸数

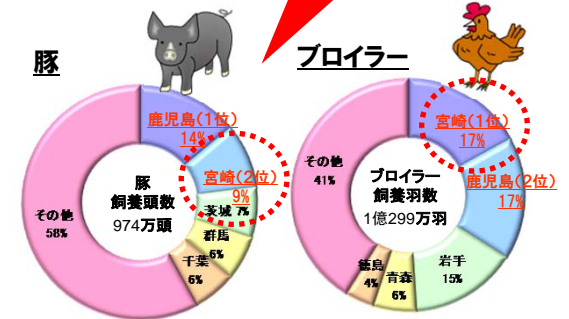


資料：志布志市(H21)、畜産統計(H17)

## ▼地域の声

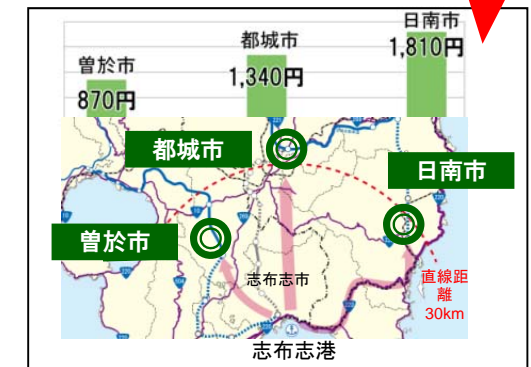
- 志布志港の取扱貨物(配合飼料、原木等)の串間・日南・宮崎・大分方面への輸送に時間がかかっている。(鹿児島県知事)
- 志布志港への運搬時に利用する国道220号はアップダウンが大きく、燃費が悪くなる。東九州自動車道が整備されることによって、時間短縮だけでなく、燃料費のコストダウンも見込まれる。(団体・企業：宮崎市)

## ▼食肉生産量



資料：畜産統計(H20)

## ▼志布志港から近隣自治体までの輸送コスト(トラック1台あたり燃料費)

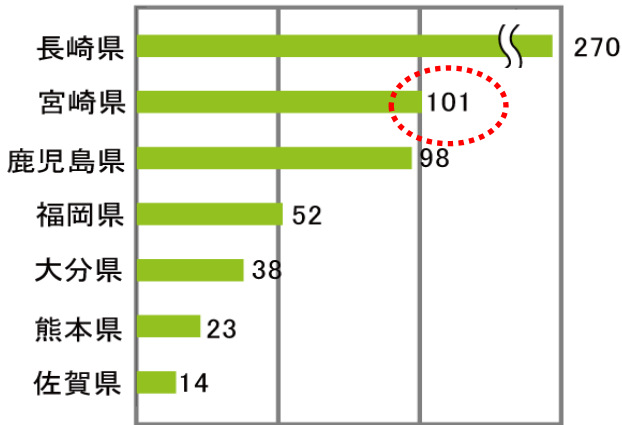


※陸上輸送コストはトラック1台当たりの燃料費をディーゼル普通貨物車の燃料消費量推計式(土木研究センター資料)により算出  
※都城市までの距離、速度は都城志布志道路の供用後で算出

# 地域の現状と課題<産業>

- 串間市はブリやウコの県内シェア40~50%を占めるなど漁業が盛んな地域である
- 串間市場は宮崎市場に比べ取り扱い価格に差がある。宮崎市場への市場拡大を望む声があるが、輸送時間が長いため宮崎市場等に出荷できない状況である

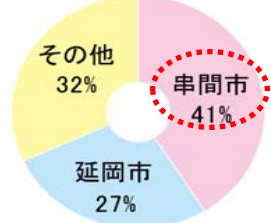
## ▼九州各県の漁獲量(H23)



資料: 漁業・養殖業生産統計(H23) 農林水産省

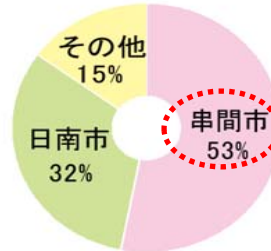
## (宮崎県内シェア)

### 【ブリ】



ブリ

### 【ウニ】

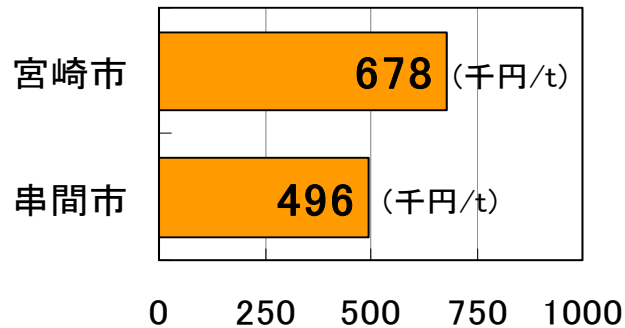


ウニ

## ▼消費地宮崎市と生産地串間市との位置関係



## ▼漁協別単位当たり水揚高



資料: 宮崎県漁業協同組合連合会資料(H21)

※宮崎市...宮崎市漁協、一ツ瀬漁協

串間市...串間市東漁協

## ▼地域の声

● 鮮魚の串間市場のセリ値は宮崎市場に比べ5~7割程度の状況であり、搬送時間が1時間程度であれば、セリ値の高い宮崎市場に出荷することができる。(団体・企業: 串間市)

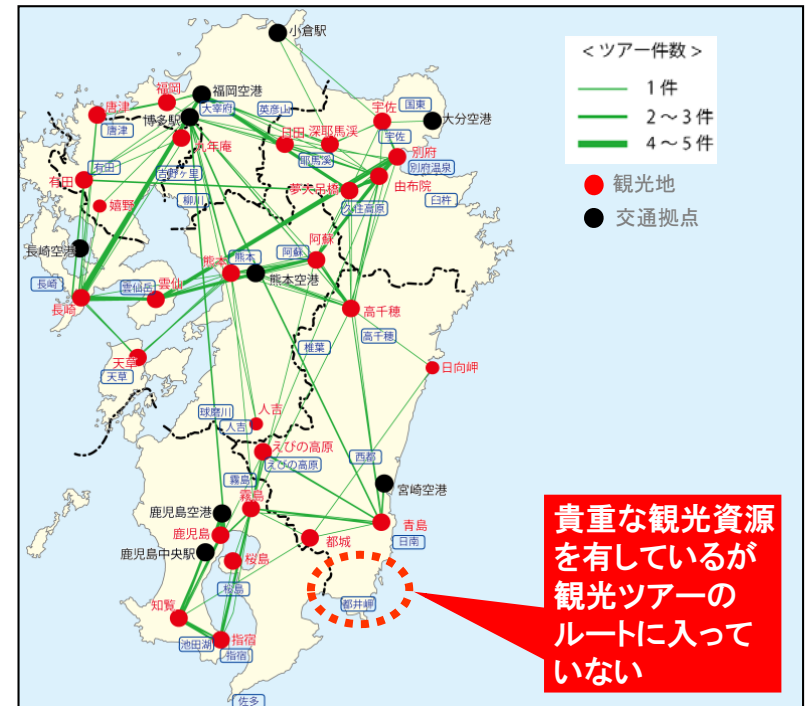
# 地域の現状と課題<観光>

■ 貴重な観光資源を多数有する地域であるが、新幹線駅・空港から宮崎県南地域まで時間を要するため、広域的な周遊観光が困難な状況である。

## ▼主な観光地と交通拠点



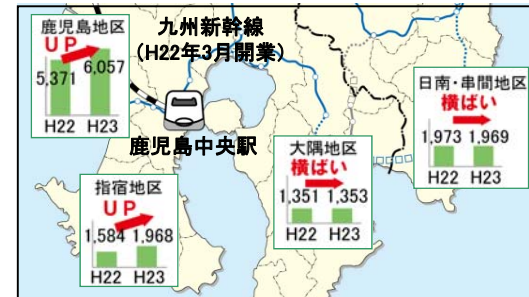
## ▼九州地方を周遊する主な観光ツアーの状況



※JTBで取り扱っている添乗員が同行する九州国内ツアー（H24年10月時点におけるHP掲載情報、離島は除く）

<p>【国の天然記念物】</p>	<p>【国の指定史跡】</p>	<p>【年間観光入込客数 4万人】</p>	<p>【年間観光入込客数 20万人】</p>
<p>【年間観光入込客数：99万人】 宮崎県観光入込客数第2位</p>	<p>【重要伝統的建造物群保存地区】</p>		

## ▼新幹線開業前後の周辺地域の観光客数推移(単位:千人)



## ▼地域の声

●鹿児島まで新幹線が整備され、指宿等が賑わいを見せています。東九州道が整備されると観光客の周遊ルート等、宮崎県南地域の方に向けて来ると考えられます。(住民：日南市、60代以上女性)

資料：都道府県観光統計調査



## 4. 対応方針の検討

## 4. 対応方針の検討＜政策目標の設定＞

### ■ 政策目標の設定

■ 地域の課題や将来像等を踏まえ、4つの政策目標を設定し、これら目標を達成するための対策案を検討。

地域の現状と課題

道路・交通の現状と課題

地域の将来像

1. 災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保
2. 移動の速達性、確実性の向上による生活環境の改善
3. 移動時間の短縮、走行性の向上による産業の活性化
4. 観光資源の周遊性を高める広域ネットワークの確保

### ■ 対策案の検討

#### 【防災】

・津波等の災害時でも通行できるルートの確保により、災害時における避難・救助活動や社会経済活動を支援

#### 【医療・暮らし】

・宮崎市の救急医療機関への速達性、確実性の向上  
・都市部への時間短縮による生活環境の改善

#### 【産業】

・宮崎～日南～志布志間の所要時間短縮、走行性の向上による物流効率化、販路拡大など、地域の強みを活かした産業活動の活性化

#### 【観光】

・自然観光資源を活かし、連絡性向上により周辺観光施設と一体となった広域的なネットワークの確保

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

## 4. 対応方針の検討<ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント>

■計画案は以下のポイントを考慮し、複数案を検討する。

◇基本コンセプト: 津波浸水区域を回避しつつ、沿岸地域へのアクセス性に配慮

◇ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント

位置の検討にあたっては、災害への対応、アクセス性、環境の保全と調和、経済性などを考慮し検討する。

### 災害に強い・信頼性

・津波浸水区域(南海トラフ等)を回避する。

### 集落・市街地・主要施設とのアクセス

・集落や市街地、工業団地等の拠点施設、幹線道路とのアクセス性を考慮する。

### 生活環境・自然環境の保全と調和

・沿線住民の生活環境保全のため、集落や市街地エリアを分断しないよう配慮する。  
・自然環境保全のため、土地の改変が最小限となるよう配慮する。

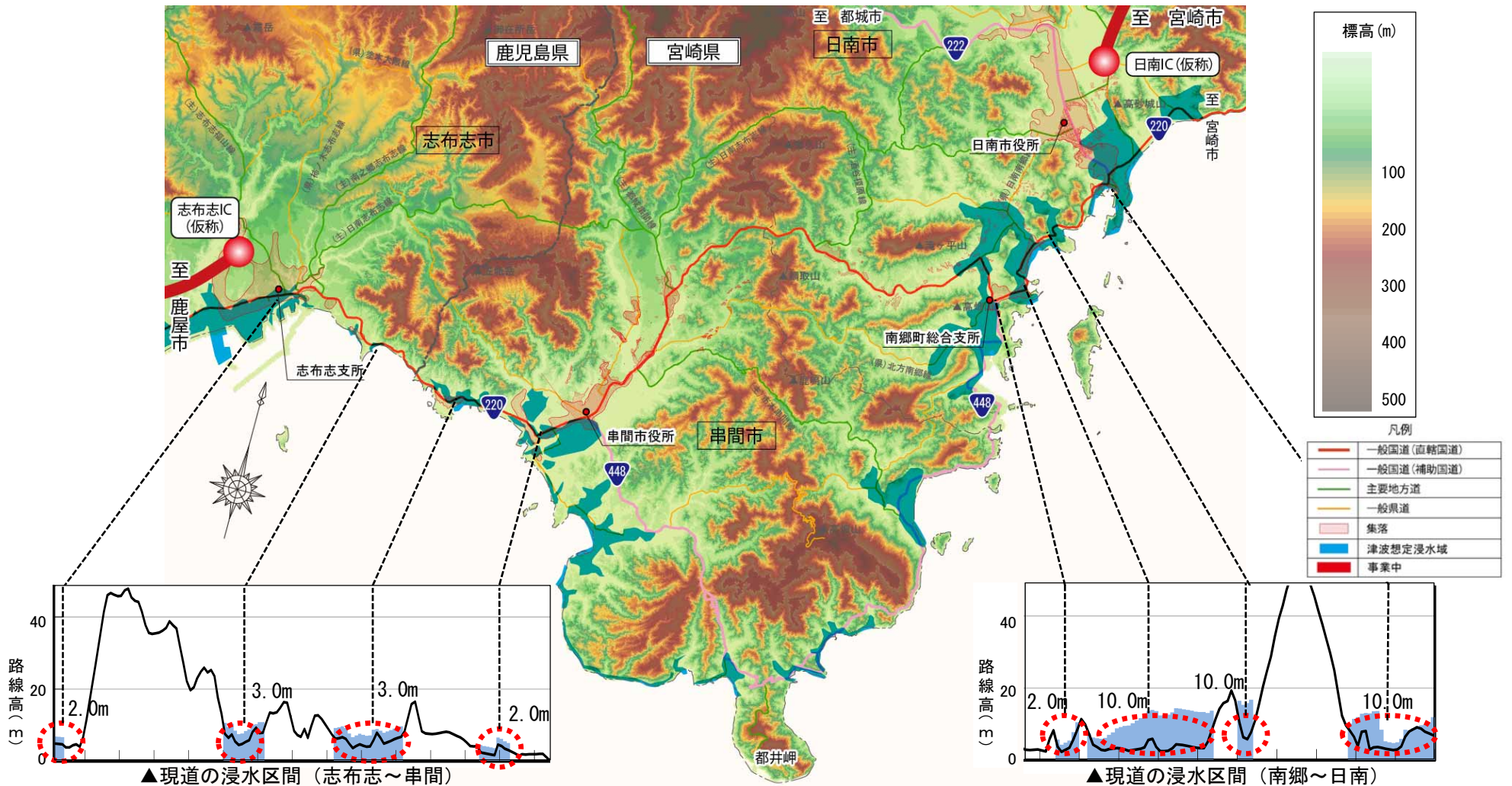
### 経済性への配慮

・経済性に優れている道路構造を基本とする。



# 4. 対応方針の検討＜地形・津波浸水区域＞

- 地形状況は、国道220号を挟んで、南北に急峻な山地が広がっている。
- 南海トラフの巨大地震・日向灘沖地震等に対し、国（H24.8公表）、宮崎県（H25.2公表）・鹿児島県（H25.3公表）がそれぞれ浸水区域を想定。

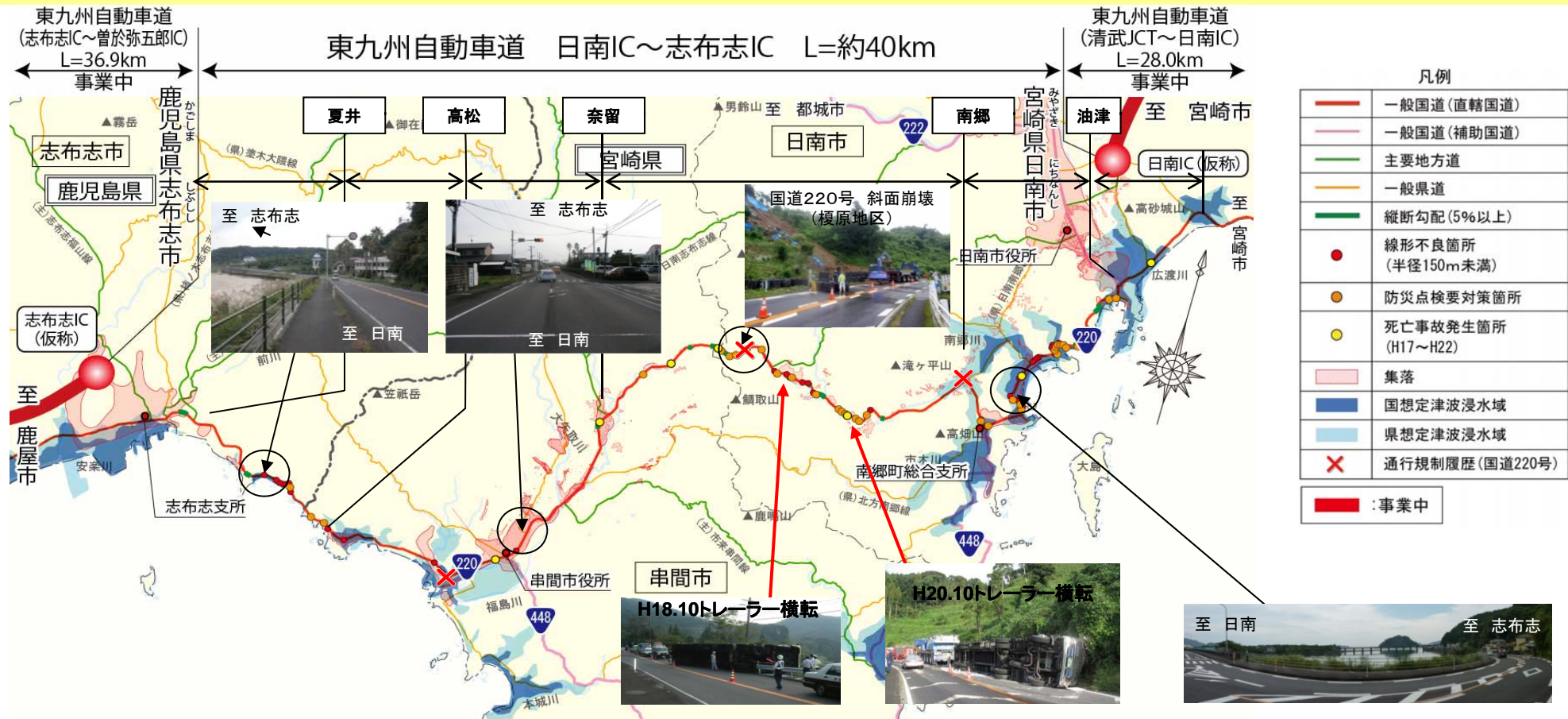


※津波浸水域出典  
 内閣府：「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」H24.8.29  
 宮崎県：「県としての新たな「津波浸水想定」の設定について」H25.2.19  
 鹿児島県：「鹿児島県地震等災害被害予測調査中間報告（災害想定の概要）」H25.3.25

※縦断図中の数値は最大浸水深



# 4. 対応方針の検討<現道の状況>



現道課題からの評価	概況	鹿児島県		宮崎県				
		志布志市		串間市		日南市(旧南郷町)		日南市
		志布志～夏井	夏井～高松	高松～奈留	奈留～南郷	南郷～油津	油津～日南	
道路構造	現道延長(km)	2.10	6.30	10.20	16.70	9.90	1.20	
大規模地震	平面線形不良箇所数(R<150m)	0箇所	8箇所	4箇所	7箇所	21箇所	0箇所	
	縦断線形不良箇所数(i>5%)	1箇所	1箇所	0箇所	9箇所	6箇所	0箇所	
災害	南海トラフ浸水区域延長(国道220号現道:km)	0.2	1.3	2.6	0.5	7.7	1.2	
	最大浸水深	2.0m	3.0m	5.0m	0.3m	10.0m	10.0m	
安全	H18防災点検要対策箇所数	0箇所	3箇所	0箇所	15箇所	20箇所	0箇所	
	通行規制回数(回数/10年) ※H11～H21通行規制情報	0回	0回	3回	1回	1回	0回	
走行性	死傷事故件数(1km・年あたり) ※H17～H22の6年間合計	55件(4.4件/km・年)	36件(1.0件/km・年)	185件(3.0件/km・年)	113件(1.1件/km・年)	156件(2.6件/km・年)	37件(5.1件/km・年)	
	H23民間プローブデータ 旅行速度(km/h)断面	43	48	31	44	25	25	
生活環境	交差道路の数(1kmあたり) ※幅員≥4m	13(6.2本/km)	5(0.8本/km)	30(2.9本/km)	24(1.4本/km)	19(1.9本/km)	8(6.7本/km)	
	家屋道損延長(区間比率)	1.8km(86%)	0.6km(10%)	7.6km(75%)	3.9km(23%)	3.1km(31%)	0.5km(42%)	

# 4. 対応方針の検討<計画の基本的方向(ルート帯案の概要)>

■ 「全線BP案」と「BP+一部現道活用案」及び「現道改良案」の3ルート帯を設定。



評価の項目		案①全線BP案	案②BP+一部現道活用案	案③現道改良案	
ルートの概要		全線を別線とした短絡案	一部現道を活用し、より早期に整備の実現を図る案	全線において既存の現道を改良し活用する案	
		80km/hで走行できる自動車専用道路	80km/hで走行できる自動車専用道路 (設計速度60km/hの一般道約7km)	設計速度60km/hの一般道	
道路整備される効果	目的地までの移動は?	78km/h	71km/h	47km/h	
	産業	都市間の連絡連絡速度 (日南市~志布志市)			
	医療	109分~52分 (57分短縮)	109分~52分 (57分短縮)	109分~70分 (約39分短縮)	
	観光	周遊時間 (鹿児島中央駅~日南)	2時間40分~1時間57分 (43分短縮)	2時間40分~2時間1分 (39分短縮)	2時間40分~2時間32分 (約8分短縮)
災害の時は?	防災	津波による浸水	平面及び高さにより回避	高さにより回避	
	代替路機能	全線別線により代替路として機能	現道活用区間以外は代替路として機能	代替路として機能しない	
沿道の利用は?	沿道の土地利用	自動車専用道路であるため利用できない	現道活用区間については利用できる	利用できる	
道路整備による影響	生活環境への影響は?	移転が必要となる家屋などの数	別線整備のため少ない	沿道家屋への影響が大きい	
	自然環境への影響は?	土地を新たに改変する量	全線新設のため最も大きい	全線BP案より少ない	現道改良のため少ない
その他	開通時期は?	整備効果の発現	一定の期間を要する	現道の改良を順次行うため全線BP案よりも早期に発現可能	段階的に供用することが可能 ただし、支障となる家屋が最も多いため用地買収等に關わる不確定要素が多い
	整備費用は?	建設に要す費用	約1,050~1,100億円	約1,000~1,050億円	約850~900億円



## 5. 第2回意見聴取方法(案)

# 5. 第2回意見聴取方法(案)

## 1. 意見聴取の基本方針

- ・ ルート選定にあたり、重要視する観点を把握する。
- ・ インターチェンジの設置位置（配置計画）において、重要視する観点を把握する。

- ※1 ヒアリングは、団体の代表者及び企業等へ対面方式でのアンケート票による意見聴取。
- ※2 オープンハウスは、各自治体市役所での説明。アンケート票による意見聴取。  
オープンハウスの周知は市報などで広報。
- ※3 アンケートは、地域住民にアンケート票を全戸配布し意見聴取。

■意見聴取範囲



対象者		
ヒアリング ※1	【沿線自治体及び団体代表者】宮崎県・鹿児島県・関係市・団体への意見聴取	
	沿線自治体：宮崎県、鹿児島県、日南市、串間市、志布志市	5名
	各団体：トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所・商工会、消防署、警察、農協、漁協、観光協会 等	34団体
	【企業等】宮崎県・鹿児島県・関係市の関係企業への意見聴取	
	各企業：製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉	主要100社
オープンハ ウス※2	【地域住民】沿線の日南、串間、志布志の市役所及び支所にオープンハウスを設置（市域全戸に市報等で周知）	
	日南市：市役所・南郷支所、串間市：市役所、志布志市：市役所	—
アンケート ※3	【地域住民】沿線の日南市、串間市、旧志布志町の地域住民へ郵送配布	
	日南市	約23,000戸
	串間市	約8,000戸
	志布志市：旧志布志町	約8,000戸

# 5. 第2回意見聴取方法(案)

## 2. 住民アンケート(案)

### ① 調査概要

■ 調査の主旨、調査対象箇所について説明。



ひかしきゅうしゅうじどうしゃどう  
**東九州自動車道**  
にちなん しぶし  
(日南～志布志)  
**アンケート**

このアンケートは、東九州自動車道(日南～志布志)について、国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所・大隅河川国道事務所より、みなさまにご意見をお伺いするものです。  
今後、ルート帯を検討していく上での留意事項についてお聞きし、加えて地域の課題を解決するためにふさわしい対策案の通過位置、連絡位置などの基本的な考え方についてお聞きます。

**アンケートにご協力くださいますよう、お願いします。**

東九州自動車道



A3版

### アンケートの目的

■ 「計画段階評価」で、みなさまのご意見を伺い、委員会に報告します。  
「計画段階評価」とは、公共事業の実施過程の透明性を一層向上させる観点から、地域の声を聞きながら、計画段階において事業評価を行う新しい取り組みです。  
2013年5月から行われている「社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会」では、東九州自動車道(日南～志布志)を対象として、この「計画段階評価」の審議が行われています。  
本アンケートは、「計画段階評価」の手順のなかで行われるものであり、「周辺地域にお住まいの方、企業、地元自治体」などのみなさまから頂いたご意見は、事務局でとりまとめ委員会に報告する予定です。

#### ■ 計画段階評価の進め方

社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会  地域の課題、政策 目標、手続きの 進め方について審議	自治体・企業等へのヒア リング、住民へのオー プンハウス  <b>第1回</b> 意見聴取 (ヒアリング) (オープンハウス) 地域の課題、政策 目標について	社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会  意見内容の確認及び 複数案の比較評価等 について審議	自治体・企業等へのヒア リング、住民へのオー プンハウス-アンケート  <b>第2回</b> 意見聴取 (ヒアリング) (オープンハウス) (本アンケート) 整備方針、通過位置 と連絡位置の基本的 な考え方について	社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会  意見内容の確認 及び地域等の意見 を踏まえた対応方針 (案)の審議	整備 方針 の 決定
--	--	--	--	--	---------------------

### 対象地域と道路の状況

#### 対象地域

- 日南～志布志間の沿線自治体は日南市、串間市、志布志市の3市です。九州地方の南東部に位置し、県庁所在地から近い位置にあります。
- 太平洋に面しており、物流拠点である志布志港や油津港、宮崎県南地域の主要な観光地である鶴戸神宮、都井岬などが存在します。

#### 周辺道路

- 日南～志布志間を結ぶ国道や県道などは、豪雨災害によりしばしば通行止めが発生しています。
- また、国道220号は、南海トラフ巨大地震等による津波浸水が想定されています。



計画段階評価対象区間

南海トラフ巨大地震での浸水想定範囲

# 5. 第2回意見聴取方法(案)

## 2. 住民アンケート(案)

### ②第1回意見聴取の結果概要、地域の現状と課題、政策目標、対策案の検討

■第1回意見聴取の結果、沿線地域の現状と課題、政策目標、対策案検討の考え方を説明。

A3版

#### 第1回意見聴取の結果概要

第1回意見聴取として、地域および道路・交通の課題並びに政策目標について、関係自治体及び主要団体・企業へのヒアリングを、沿線地域ではオープンハウスを実施しました。  
 地域および道路・交通の課題並びに政策目標については、全体的に道路整備についての期待の意見が多く寄せられました。また、日南～志布志間の道路整備について、早期の供用を望む声が多く寄せられました。

##### ■意見聴取の概要

	意見聴取方法	概要	実施状況
自治体	ヒアリング	宮崎県、日南市、串間市、鹿児島県、志布志市	2県 3自治体
団体	ヒアリング	トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所・商工会、消防署、警察署、農協、漁協、観光協会等 (宮崎市：3団体、日南市：15団体、串間市：8団体、鹿児島市：2団体、志布志市：9団体)	37団体
企業	ヒアリング	対象地域の主要企業 (日南市36社、串間市37社、志布志市34社)	107社
地域住民	オープンハウス	・日南市、串間市、志布志市で、平日、休日各1日、オープンハウスを開催 ・来場者に概要を説明後、意見聴取を実施	922人

##### ■主な意見

#### 1) 防災

○本県域の国道220号には、巨大地震による津波浸水域が分布しており、孤立する世帯が発生する恐れがある。  
 ○国道220号は一本道で、一度事故や災害等で不通となれば、ライフラインも断たれる。  
 ○今の道路状況では災害発生時において輸送ルートが寸断される恐れがあり、高速道路などの安定した輸送ルートの構築が必要。

#### 2) 医療・暮らし

○叔父が救急搬送された際、夜のためドクターヘリが飛ばず、救急車で宮大病院へと長時間搬送された。一命は取り留めたが、医師から「よく持ってくれた」と言われたほど一刻を争うものだった。  
 ○串間から宮崎市等へ通学の可能性が広がる。

#### 3) 産業

○鮮魚の串間市場のセリ値は宮崎市場に比べ5～7割程度であり、搬送時間が1時間程度であれば、セリ値の高い宮崎市場に出荷することができる。  
 ○業務上、工場の業務機械の突発的な故障に対して呼び出しを受けることが多いが、国道220号を通って行くしかなく、対応に時間がかかっている。  
 ○東九州道が整備されれば、多様な企業への誘致活動が容易になる。

#### 4) 観光

○鹿児島まで新幹線が整備され、指宿等が賑わいを見せています。東九州道が整備されると観光客の周遊ルート等、宮崎県南地域の方に向けて来ると思われます。  
 ○東九州道が整備されれば、鹿児島空港→県南地域→宮崎空港という周遊ルートもできる。  
 ○現在でも少人数だが修学旅行生が来訪しており、高速道路が繋がると誘致に弾みがつく。

#### その他

○当該区間は高速交通網から取り残された区間であり、地域の経済・産業の活性化を図るためには「繋げてこそネットワーク」の視点に立ち整備が進められるようお願いする。  
 ○国土の均衡ある発展の為に速やかに整備してほしい。  
 ○コストが掛からない効率の良いルートを整備してほしい。  
 ○単に通過するだけになってしまっは、ますます地域が衰退する。道路を生かして地域をどう活性化するか、官民が連携し、地域と道路が一体となった街づくりを考えていかなければならない。  
 ○生活道路、観光道路として活用できるためには、無料で整備されると助かる。

#### 地域の現状と課題

対象地域の現状と課題を、以下のように考えています。

	地域の現状と課題
防災	○南海トラフ巨大地震等による津波浸水域が多数分布し、幹線ネットワークの途絶により、孤立する世帯が想定される。
医療・暮らし	○串間市から第3次医療施設への救急搬送は、増加傾向にあるが、現状では搬送時間に109分、事業中区間が完成しても、60分以上を要する。 ○高校が多くある宮崎市までの通学は困難で寮や下宿となるため、精神的な負担とともに、家庭の教育支出の負担も大きい。 ○串間市には都市型レジャー施設がなく、施設が多く立地する宮崎市までは約2時間を要するため夜のイベント時には宿泊を要する。
産業	○志布志港が国際ハルク戦略港湾に指定され、海外から大量輸送による安価な飼料入手が可能となり、地域産業発展の重要な役割を担うが、東九州道沿線地域に供給するまでの物流ネットワークのアクセス強化が課題。 ○宮崎市場への市場拡大を望む声があるが、輸送時間が長い宮崎市場に出荷できない。 ○市場までの輸送時間が長いこと、鮮度保持対策に必要な野菜の出荷量が少ない。 ○最寄ICからの所要時間が長いこと、企業進出しにくい。
観光	○貴重な観光資源を多数有する地域であるが、新幹線駅・空港から宮崎県南地域まで時間を要するため、広域的な周遊観光が困難な状況である。

#### 政策目標

対象地域の課題を解消するための政策目標は、以下の4つであると考えています。

- 防 災 : 災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保
- 医療・暮らし : 移動の速達性、確実性の向上による生活環境の改善
- 産 業 : 移動時間の短縮、走行性の向上による産業の活性化
- 観 光 : 観光資源の周遊性を高める広域ネットワークの確保

#### 対策案の検討

政策目標を達成するための対策案を検討しました。

<b>【防災】</b> ・津波等の災害時でも通行できるルートの確保により、災害時における避難・救助活動や社会経済活動を支援	<b>【医療・暮らし】</b> ・宮崎市の救急医療機関への速達性、確実性の向上 ・都市部への時間短縮による生活環境の改善	<b>【産業】</b> ・宮崎～日南～志布志間の所要時間短縮、走行性の向上による物流効率化、販路拡大など、地域の強みを活かした産業活動の活性化	<b>【観光】</b> ・自然観光資源を活かし、連絡性向上により周辺観光施設と一体となった広域的なネットワークの確保
--	--	--	---

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討





